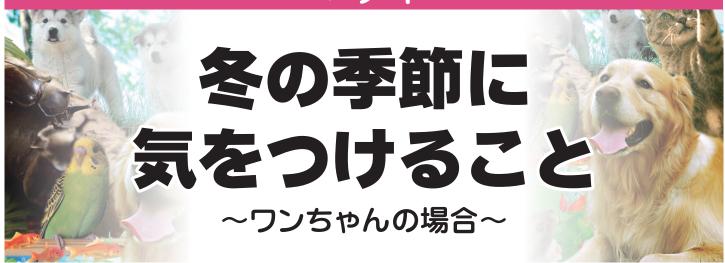
ペット



●泌尿器系疾患になりやすい冬。オシッコの変化をチェックして!

犬がかかる病気には、オシッコに症状が出るものが結構あり、泌尿器の病気にかかりやすい冬場はとくに、尿の 状態を入念に観察してあげてください。ただ、犬と一緒に生活していても、ふだんから色や二オイに敏感になっ ていないと変化に気づきにくいもの。愛犬の健康な時のオシッコの状態を把握しておきましょう。

あなたの愛犬は、どれか当てはまりますか? ――オシッコの病気 早期発見チェックシート

■ • □ 馨文 愛犬の排泄のタイミングを意識しておくと気づきやすい! 👱 濃すぎず淡い黄色が正常な色。薄すぎるのも要注意! 赤みを帯びている 考えられる病気 膀胱炎、尿石症、尿道炎、前立腺炎、前立腺腫瘍、フィラリア 回数が増える頻尿 考えられる病気 膀胱炎、尿石症、腫瘍 血が混ざっている場合がほとんど。オシッコシートにした尿なら、時間が経っても血の 個体差はありますが、1日3、4回の排泄が平均。 少量の尿を何回も出すのは、結石があって尿が出にくいからかもしれません。 あとが残るので症状は気づきやすいほうです。 1回の量が増える多尿 考えられる病気 糖尿病、尿崩症、慢性腎不全 いつもより濃い黄色 考えられる病気 肝臓疾患(急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変)、胆のう疾患、レブトスピラ症、脱水・発熱 健康な犬の尿は淡黄色。黄色が濃くなると肝臓疾患の疑いが。 たくさん水を飲むと、もちろん尿の量は増えます。 糖尿病や尿崩症など、水をたくさん飲みたがる症状が出る病気の可能性大。 もしウイルス性の肝炎といった病気なら、犬は元気がなくなります。 あまり量が出ない 考えられる病気 尿石症、急性腎不全 薄く無色透明 考えられる病気 慢性腎不全、糖尿病、尿崩症、クッシング症候群 通常、体の毒素を腎臓で濃縮したものがオシッコとして体外へ出ます。 ___ 頻尿に近い症状。これも尿石によって尿道が閉塞した状態になるのが原因。 犬は一生懸命にオシッコをしようとしますが出ません。 無色透明の場合、腎臓機能の異常が原因かもしれません。 考えられる病気 膀胱炎、慢性腎不全 白く濁った色 透き通った淡黄色ではなく、白く混濁した色の尿も要注意! 排泄時、痛がってない? 垂れ流してない? 腎臓で毒素を凝縮した尿が作られないので、白くなるのです。 排泄のとき痛がる 考えられる病気 膀胱炎、尿石症、尿道炎 キラキラと光る 考えられる病気 膀胱炎、尿石症 ____ 犬がシートの表面や路面に排尿したあと、少し乾くとキラキラ見えることがあります。 結石のもとになる結晶が光っているのです。 す。排泄時に「キャン!」と声を出して鳴く犬も。膀胱に結石がある場合は、それほど痛 がりません。 おもらししたり、垂れ流す 考えられる病気 痴呆・老齢化、脊髄の障害 トイレ以外の場所でおもらししたり、尿がいつも垂れている症状。 「オシッコの垂れ流し」状態は、泌尿器自体に異常がある場合があります。 ■ 意外に気づきにくいニオイの変化。「におわない」も危険信号… もともと先天的な疾患をもつ犬も。 いつもよりアンモニア臭が強く臭い 考えられる病気 膀胱炎 ふだんよりも二オイがきついかな?」と感じる程度の症状でも、病気の可能性が。 顔を近づけて嗅いでみましょう。 考えられる病気 糖尿病、慢性腎不全 「無臭だから安心」と思いがちですが、オシッコは臭いのが正常なのです。 腎臓がうまく働いていない可能性が。

●オシッコ観察のポイントは?

- ●色のついていないトイレシーツの上でオシッコを させて、色の変化をみましょう。
- ●屋外でオシッコをする犬の場合は、トイレシーツを持っていきましょう。
- ●オシッコの二オイの違いは、帰宅した直後に確認 すると気づきやすいのです。

●オシッコに異常を感じたら…原因をはっきりさせるため、獣医さんに 早めに診てもらいましょう。

家でも「量・回数」や「姿勢」はチェックしやすいですが、屋外でしかオシッコをしない犬の場合はとくに、「色」「ニオイ」の変化は判別が難しいもの。たまには外にトイレシーツを持って行って、 尿の状態を観察しましょう。異変に気づいたら、すぐに獣医さんに相談を。そのまま放っておくと、 病気がますます悪化することもあります。 寒い冬でも暖房器具を使うと室内はポカポカ。しかし、犬は人ほど暑さや寒さに敏感ではあり ません。暖房器具で暖まりすぎて低温やけどなどケガをすることも。愛犬をケガや事故から守 るため、暖房器具の使い方を考えましょう。

こんな行動、しぐさをする犬は「暑がっている」かも!?

冷たい床に寝る



おなかをベッタリ床につけて、 体を冷そうとしています。

水をたくさん飲む



いつも以上に水をガブ飲み、 ノドの渇きをおさめようとしています。 体温を調節しようとしています。

息づかいが荒い



口を開けてしきりに呼吸、

暖めすぎない暖房器具の使い方

床暖房

床におなかをくっつけて寝る犬は、床暖房 の影響を受けやすくなります。遠赤外線の ふくしゃ熱を利用する床暖房の場合、一度 体が暖まると、冷たい所に寝たりして体を 冷しても、体の内部はまだ暖かいままとい うことが。それに犬が気づかずに床暖房で 暖まることを繰り返すと、熱中症のように なることもあります。

- ◆すのこの上に犬用ベッドを置いて床面と の間に空間をつくります。そうすれば、床 暖房の影響を少なくすることができま す。
- ◆犬用ベッドやケージは床暖房の外に置き ましょう。人が「触っても熱くない」設定温 度でも、実は犬には高すぎ。「冷たくない」 程度が、ちょうど良い温度なのです。

電器ストーブ

近くに寄りすぎると、毛を焦がしたり、やけ どなどケガをしてしまうことがあります。

◆ストーブのまわりを柵で囲んで近寄れない ようにしましょう。サークルを利用するのも手。

ホットカーペット

ずっと寝ていると熱で低温やけどを起こした り、毛が抜けてしまったりすることがあります。

◆犬用ベッドやクレートはホットカーペッ トの外に置きましょう。電源を切ったり、 タイマーを使うのも○。

エアコン

室内の温度が乾燥しがちに。湿度が30%以 下になると、体調を崩す心配があります。

◆室内に水を置いたり、加湿器を使って乾燥 しすぎを防いで。湿度は60%が目安です。

オイルヒーター

暖めすぎない安心の暖房器具。でも、長時間 じかに触れると低温やけどをすることが。

◆まわりを柵で囲みましょう。犬がくっつ いて寝ないようにしてあげると安全です。

こたつ

ずっと入っていると、低温やけどや脱水症 状を起こしてしまうことも。

◆犬を入れるなら電源オフで。犬にとって は中にいるだけでも充分に暖かいのです。



アプリ限定クーポンでお得にお買物!!

ヤハディオアプリ会員



アヤカ ポイントも 貯まる!

Point ポイント 機能









ダウンロードは こちら▶▶







